

防災メモ

火山観測施設（2：安達太良山）

仙台火山監視・情報センター（以下、火山センター）では、地震計による震動観測、GPS による地殻変動観測、遠望カメラによる遠望観測及び空振計を用いて、安達太良山の火山活動の常時観測・監視を行っています。

気象庁では 1965 年 7 月に沼ノ平火口の北東約 5 km に地震計を設置し、震動観測を開始しました。この観測点（A 点）は観測施設の更新に伴い、1999 年 11 月に現在位置（沼ノ平火口の東約 3 km：B 点）に移設され観測を継続しています。また、1996 年以降、沼ノ平火口付近の噴気・地熱活動が活発化しているため A 点での観測も継続しています。これらの地震計によるデータは火山センターに全てテレメータされ観測・監視が行われています。

GPS による地殻変動観測は最も新しい観測方法で、火山体の膨張や収縮など広範囲な地殻の変化を観測するために鷲倉、沼尻、岳の 3 観測点を設置し、2001 年 11 月から火山センターで観測を行っています。

遠望観測は、1965 年 7 月、福島地方気象台から目視により噴気や噴煙の観測が始められました。その後 1999 年 11 月に、現在位置（猪苗代町内）に遠望カメラを設置して観測を継続しており、現在は火山センターで観測を行っています。

また、1999 年 11 月に B 点に空振計を設置し、観測を開始しました。空振計は悪天時や夜間における噴火現象の確認などに利用されます。



安達太良山火山観測点配置図



安達太良山遠望局舎と安達太良山(写真奥)



安達太良山 B 点地震観測局



鷲倉 GPS 観測局